

定例オンラインセミナー講演会No.92



教科教育学・心理学・日本語教育学の視点からインクルーシブな学びを考える(4)

理科に学びにくさのある 子どもをどう支援するか？

●日時

2021 10.2 (土) 14:00-15:30

オンライン会議Zoomを使用

●スケジュール

趣旨説明 木下博義・三好美織(広島大学)

話題提供:理科教育における研究動向 中山貴司(広島大学附属東雲小学校)

実践報告:理科授業における教師の支援の実際 古石卓也(広島大学附属東雲小学校)

話題提供:観察や実験をユニバーサルデザインしてみる 氏間和仁(広島大学)

ディスカッション・Q&A 木下博義・三好美織(広島大学)

おわりに 木下博義・三好美織(広島大学)

本シリーズでは、学びにくさを持つ子どもに既成の教科カリキュラムをいかに教えるかとともに、インクルーシブな社会の実現に向けて教育には何ができるかを考える。

第4回目は「理科」に焦点をあてる。理科の授業では、子どもが諸感覚を働かせて自然とかかわり、主体的に学習を展開する。例えば観察の場面では、花を見る、触る、においをかぐなど、様々な活動がある。その際、教師は「すべての子どもが自分の意図した通りに観察している」と考えていないだろうか？

本セミナーでは、理科に学びにくさのある子どもの認識について考えるとともに、教師の支援のあり方を議論する。

主催/日本生命財団「児童・少年の健全育成委託研究」「学びのユニバーサルデザインに基づく

日本型インクルーシブ教育システムのロールモデルの開発」(研究代表者:川合紀宗)

共催/広島大学教育ビジョン研究センター(EVRI)

後援/広島SDGsコンソーシアム

QRコードからもお申し込みいただけます。お申し込み後にオンライン会議に必要な情報をご連絡します



【お問い合わせ先】

Tel & Fax:082-424-5265, Email:evri-info@hiroshima-u.ac.jp

<https://evri.hiroshima-u.ac.jp/18110>